

令和6年度の 決算を報告します



詳しい内容は
市のホームページをご覧ください。
問財務部 財政課 ☎ 24-5305

実質収支額（一般会計・特別会計）

10億5,963万円で
黒字決算となりました。

=

歳入
249億
8,404万円

－

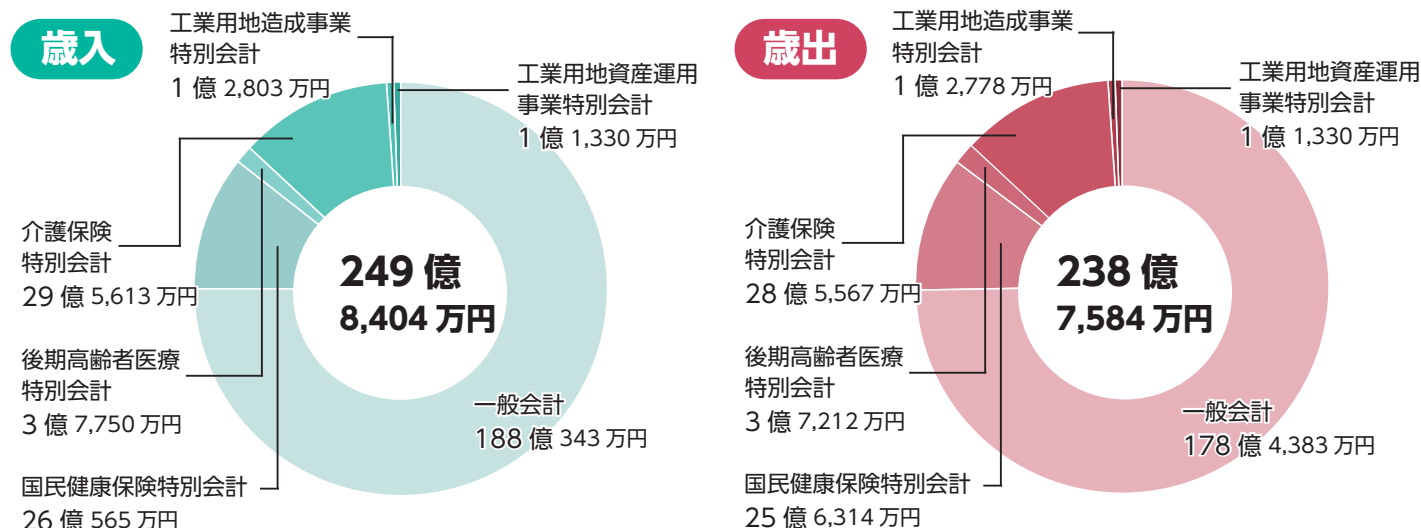
歳出
238億
7,584万円

－

繰り越し財源
4,857万円

決算の概要（一般会計・特別会計）

企業会計の概要は上記 QR から市のホームページをご覧ください。



市の貯金（基金残高）と借金（市債残高）はどれくらい？

財政調整基金	14億1,036万円
その他基金	17億8,336万円
合計	31億9,372万円

基金には、財政調整基金のほかに、教育施設の長寿命化事業、市営住宅の維持管理など特定の目的のために積み立てている基金があります。

市債残高*	276億1,669万円
うち実質負担額 (本宮市が負担する額)	225億7,865万円

※残りの50億3,804万円は臨時財政対策債

（臨時財政対策債は、本来国から市に来るべきお金を国が用意できないため、市が代わりに借り入れるものです。返済分のお金は国が負担しています。）



POINT

財政調整基金とは？

財政運営上、財源不足を補うために活用される「やりくり」のための貯金です。災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態にも備えています。本宮市では、弾力性のある財政運営ができるよう財政調整基金の期末残高14億円を独自指標として定めています。

今後も健全な財政運営を行っていきます

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。令和6年度決算では、4つの指標とも市および国の基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、健全な財政運営をしていきます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく指標		本宮市	国の早期健全化基準	国の財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	0.0%	13.42%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字の割合	0.0%	18.42%	30.0%
実質公債費比率	1年間の収入に対して全会計が返済する借金が占める割合	5.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対して全会計の将来に負担が見込まれる負債の割合	66.9%	350%	